

三重縣公報

同認省

明治二十年六月三日 金曜日

第拾九號

訓令

●三重縣訓令第七百拾壹號

戶長役場

石川縣下鳳至郡小伊勢村外二十三ヶ村戸長役場五月五日失火ノ節書類悉皆燒失候ニ付該役場ニ對シ照會中ノ件ニテ事未タ完結ニ至ラサルモノハ最前ノ照會書寫回付方取計フベシ

明治二十年六月三日

三重縣知事石井邦猷

●三重縣訓令第七百拾貳號

郡役所 戶長役場

地籍變換願ノ內官有トナスヘキ地所ハ登記請求ノ都合有之條條其民有ナリシハ登記ヲ經タルモノト否トテ願書ニ附記セシムベシ

明治二十年六月三日

三重縣知事石井邦猷

●三重縣訓令第七百拾三號

郡役所

租稅官損稟申方明治十六年九月第三百七拾號ヲ以テ相違當候處更ニ左ノ通改定ス
但甲乙別樣式ハ別ニ之ヲ送付ス

明治二十年六月三日

三重縣知事石井邦猷

一 明治十年第七拾九號布告ニ據リ内國稅不納者公賣處分ノ末官損ニ歸シタル金額ハ甲別樣式ニ倣ヒ調製シ每稅納期后四十日已内ニ稟申スヘシ
一 前項既往年度ニ屬スルモノハ乙別樣式ニ倣ヒ前下半年度ニ區分調製シ前半年度分ハ十月十

廿年九月
千六百六十六
三ノ

十六年三月
七十
年

日已内后半年度分ハ翌年四月十日已内ニ稟申スヘシ
 一荒地成檢査中又ハ非常ノ災害ニ罹リ備荒儲蓄金ヨリ補助或ハ貸與取調中ノ類ニシテ納期ニ際
 シ徵收シ能ハサル分ハ該租納期已前延納ヲ稟議シ而シテ調査濟ノ上第一項處分ニ係ルモノアル
 キハ追加官損金額表ヲ以テ稟申スヘシ

●三重縣訓令第七百拾四號

郡役所 警察署
 同分署 戶長役場

國稅ニ關スル犯罪者報告順序左ノ通相定ム

但明治十七年九月乙第二百拾六号達ハ廢止ス
 明治二十年六月三日

三重縣知事石井邦猷

第一條 郡役所戶長役場ニ於テ國稅ニ關スル犯罪者ヲ發見シ告發スル場合ニ於テハ第二條第三
 條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二條 諸稅則及ヒ地租條例ノ違警罪犯並ニ地券下付書換ノ愆期者ハ別紙甲号書式ニ依リ畧表
 ナ製シ其告發年月日犯人ノ住所氏名犯由及地券通數反別地價等ヲ明記シ告發書ニ添付シテ所
 屬警察署又ハ分署ニ送致スヘシ

第三條 地租條例其他諸稅則違犯者ノ輕罪ニ係リ裁判所ニ告發スル者ハ略表ヲ添付スルコト及ハ
 スト雖モ告發シタル日ヨリ三日以内ニ乙号書式ノ表ヲ作り收稅部ニ送致スヘシ

第四條 警察署又ハ分署ニ於テ其告發ヲ受ケ即決言渡ヲ爲シタルキハ告發書ニ添付セシ畧表ニ
 警察署名言渡年月日罰條等ヲ明記シ言渡シタル日ヨリ三日以内ニ收稅部ニ回付スヘシ

但告發棄却又ハ無罪ニ歸シタルモノモ其旨同部ニ通告スヘシ
 第五條 警察署又ハ分署ニ於テ該犯審理上郡役所戶長役場ニ於テ明記シタル添付表ノ事項ニ誤

謬アルヲ發見シタルキハ即チ訂正ヲ爲スヘシ

第六條 警察署又ハ分署ニ於テ郡役所戶長役場ノ告發書ヲ受理スルニ當リ若シ添付表ヲ脱スル
 モノアラハ直ニ之ヲ要求シ第四條ニ據リ處辨スヘシ

第七條 自首又ハ檢査員ニ非サル者ノ告發ニ係リ其添付表無キモノハ警察署又ハ分署ニ於テ甲
 号書式ニ依リ之ヲ作り各事填款漏ナク掲記シ第四條ニ掲クル期限内收稅部ニ回付スヘシ

●告發摘要

國	郡	町	村	氏	名
警	察	署	名	告	發
年	月	日	宣	告	年
月	日	日	月	日	日
罰	條	犯	由		
地	券	通	數	又	
別	地	價	額		
告	發	濟	報	告	

區	郡	町	村	氏	名
告登シテハ	裁判所名	告發年月日	告發者官氏名		
罰	條	犯			由

沿海町村浦役場

●三重縣訓令第七百九十五号
 本年三月十七日次記ノ乘徳島縣下板野郡長原浦村沖合ニ於テ暴風ニ逢ヒ小回船積荷ト俱ニ漂流
 行跡不明ノ旨同縣ヨリ通知有之候ニ付所在見聞ノ者アラハ其旨當廳へ届出ベシ

明治二十年六月三日

三重縣知事石井邦猷

- 一 額九キ方 一頭結髪 一色黒キ方 一唇並 一鼻高キ方 一眉濃キ方 一目丸キ方 一年齡三十一歳五ヶ月
- 一 額九キ方 一頭結髪 一色黒キ方 一唇薄キ方 一鼻高キ方 一眉濃キ方 一目細キ方 一年齡五十一歳七ヶ月
- 人相 徳島縣板野郡窪島浦村拾六番堀平氏 松本伊三太
- 人相 右同人長男 松本里吉
- 一 小回船 壹艘 長三間 但端船壹艘長一間其他付屬品悉皆共 此見積代價金四拾圓
- 漂流物品

一積荷餅類百六拾俵 此日積代金七百九拾三圓
 ●三重縣訓令第七百拾七號

郡役 南北牟婁答志 英虞郡ハ省ク 戶長役場

客年十月第百五拾九号ヲ以テ精撰米組合取締所規約認可之義訓令ニ及候處本年定式總會ノ議決
 ナ以テ規約改正伺出候ニ付別紙之通認可セリ

明治二十年六月三日

三重縣知事石井邦猷

精撰米組合取締所規約

- 第一條 當取締所ハ明治十九年本縣達甲第七拾壹號ヲ遵守シ之ヲ設置ス
- 第二條 當取締所ハ安濃郡津ニ置キ三重縣精撰米組合取締所ト稱ス
- 第三條 當取締所ハ左ノ事項ヲ管理ス
 - 一 組合ノ趣向ヲ畫一ニシ規約實施ヲ監督スルヲ
 - 一 組合ノ利害ニ關スル事項ヲ報告スルヲ
 - 一 伊勢伊賀米ノ輸出ヲ檢査スルヲ
 - 一 諸統計ヲ編成スルヲ
- 第四條 當取締所及各組合ノ經費ハ證票料印證料並ニ檢査手数料ヲ以テ之ニ充ツ
- 第五條 證票料印證料ヲ定ムルヲ左ノ如シ
 - 玄米印證 一俵分金四厘
 - 但内札外札ノ一方ヲ受クルモノモ亦タ料金異ナルヲナシ
 - 白米印證 一枚ニ付金貳厘

證 票 卸買 金壹圓
仲買 金五拾錢
小賣 金貳拾錢

携帶證票 卸買小賣ノ別ナク各金拾錢

第六條 當取締所ハ左ノ場所ニ検査所ヲ設置ス

桑 名 富田一色 四日市 南若松 津 三 渡
矢 野 大口 南藤原 山 田 名 張 上 野
島ヶ原 玉 瀧

第七條 検査所ハ左ノ輸出米ヲ検査ス

海路ヲ運漕シテ本縣内外ノ諸港津等ニ輸送スル玄米白米
陸路ヲ運搬シテ他縣下ニ輸送スル玄米白米

第八條 輸出米ト雖モ本縣管内ヲ海路運漕スル小作米ハ其小作人所在地委員ノ證明書アル者ニ限
リ検査ノ手續ヲ施行セス

但證明書ハ検査役檢閱ノ證ヲ受クヘシ

第九條 検査所外ニ於テ輸出ヲ爲サントスル者又ハ内地ニ於テ他管下人ニ販賣セントスル者ハ
最寄検査所ニ申出検査セシメ派山ヲ請フヘシ

但検査所實際ニシテ實際上不便アリト認ルキハ頭取ニ於テ其地若クハ最寄委員ニ検査ノ手
續ヲ嘱托スルコトアルヘシ

第十條 其検査所ノ検査手續テ一旦輸出スル雖モ事故アリテ中途ヨリ引戻シ再ヒ前ノ検査所ヲ
經テ輸出セントスル者モ亦之ヲ検査ス

第十一條 前條ノ場合ニ於テハ已ニ付與シタル検査證ノ現存セル者ハ再ヒ検査手数料ヲ收入セ

スト雖モ現存セル者ハ其之ヲ付與シテ検査手数料ヲ收入ス

第十二條 外國へ輸出スル袋米ハ其袋詰トナサ、ル前ニ検査ノ手續ヲ施行スルモノトス

第十三條 一旦検査ヲ受テ輸出シタル米ト雖モ再ヒ他ヨリ輸出セントスル時ハ更ニ亦之ヲ検査
ス

第十四條 他縣米ト雖モ検査員ニ於テ本縣管内ヨリ輸出スル者ハ時宜ニ依リ検査スルコトアルヘ
シ然レモ検査員ハ之ヲ符與セテ手数料ヲ收入セス

第十五條 輸出米ハ検査手数料トシテ一俵ニ付金七厘ヲ差出サシムルモノトス

第十六條 検査所ニ於テハ左ノ項目ニ依リ品位ヲ鑑別シ検査證又ハ記章ヲ付シ若クハ輸出ヲ停
止ス

立 米

第一項 光澤乾燥トモ最宜ク米一合中糠秕青米等各五粒以上ヲ混ゼサル者ヲ最上等トス

但米質特別善良ナルモノニ限リ糠秕青米等各十粒迄ハ本文ニ準スルコトアルヘシ

第二項 光澤乾燥トモニ宜ク米一合中糠秕青米等各貳拾粒以上ヲ混ゼサルモノヲ上等トス

但米質善良ナルモノニ限リ糠秕青米等各三拾粒迄ハ本文ニ準スルコトアルヘシ

第三項 光澤乾燥トモニ宜ク米壹合中糠秕青米等各九丁粒以上ヲ混ゼサルモノヲ中等ト
ス

第四項 前各項ニ定ムル外ハ凡テ粗製米トシテ再製ノ後ニ非サレハ輸出スルコトヲ許サス

第五項 早害米等ノ爲メ精糈ナク能ハサルモノヲ等外米トス

第六項 等外米及濡米腐敗米等ハ第十七條ノ記章ヲ付ス

白 米

第一項 白米ハ純白ニシテ水混ナク粒小粟又ハ土砂等ヲ混セサルモノヲ上等トシ之ニ亞クモノチ中等トス尤モ見本ハ取締所ヨリ各検査所へ配付スルモノトス

第二項 検査ノ上粗澁米又ハ不正ノ所爲アリト認ヘルモノハ輸山スルヲ許サス

第十七條 前條検査ノ證及記章左ノ如ク

玄米検査證 料紙五寸

白米検査證 料紙五寸

年月日

検査済

(最上)(上)(中)(外)(濡)

(濡改)ノ印ヲ捺ス

年月日

検査済

白(上)(中)

此證ハ三重縣下ノ産米タルハス三重縣精撰米組合員ノ製造シタル白米ノ輸出スルモノヲ検査シタレ證ニシテ其米ノ産地如何ハ之レニ關係セス

右倭口ニ結束

等外米 記章 濡米 腐敗米

外 スレ フハイ

第十八條 輸出米ノ検査ハ俵毎又ハ容器毎ニ改差法ヲ行ヒ玄米ハ解俵検査スルヲ例トス尤モ解俵ノ數ハ検査俵ノ見込ニ依ル

但解俵ニタルモノハ荷主ニ於テ復裝スヘシ

第十九條 検査ノ上秤量ニ増減ヲ生ヅタルモノハ其増減ノ秤量ヲ検査済證ノ傍ニ明記スル者トス

但秤量一升以上ニ及ブモノハ必ズニテ補ハシム

第二十條 輸米ノ検査ハ申出ノ前後ヲ以テ速ニ検査ヲ施行スルモノトス

第二十一條 証票及印證ノ雛形ヲ定ムルコト左ノ如ク

證表

第一號

三重縣精撰米組合證票

卸賣 國郡町村

仲買 米商何ノ誰

小賣

料紙厚洋紙 三寸五分

二寸裏

明治何年何月限

三重縣精撰米組合

取締所

此證票ハ貸借ヲ許サス

料紙洋紙 三寸五分

携帶證表

第一號

三重縣精撰米組合携帶證票

卸賣 國郡町村

仲買 米商何ノ誰 雇人 或

小賣 家族何ノ誰

料紙厚洋紙 三寸五分

二寸裏

明治何年何月限

三重縣精撰米組合

取締所

此證票ハ貸借ヲ許サス

料紙厚洋紙 五寸

二寸外

明治何年産

米四斗二升入

三重縣精撰米組合之證

國郡町村

何之誰

裏面ニ取締所ノ印ヲ捺ス

二寸外

明治何年産米四斗二升入

國郡町村

何之誰

裏面全上

白米印面

三重縣精撰米組合之證

國郡町村

白米製造人何之誰

分五寸一

料紙厚洋紙 五寸

第廿二條 證書有効ノ期限ハ七月一日ヨリ翌年六月二十日マテトス
 第廿三條 證書及印證ハ取締所ヨリ委員長ニ交付シテ各組合ニ配付スルモノトス
 第廿四條 當取締所ノ役員ヲ定ムル左ノ如シ
 頭取一名 理事一名 検査役廿七名 視察掛廿四名

但検査役及視察掛ハ頭取ノ見込ヲ以テ増減スルコトアルヘシ

第廿五條 頭取及理事ハ組合總會ニ於テ選舉シ検査役視察掛其他雇員ハ頭取ノ特撰トス

第廿六條 頭取ハ本所一切ノ事務ヲ統轄シ違約者處分ノ事ヲ掌ル

第廿七條 理事ハ頭取ニ謀リ諸般ノ事ヲ整理シ又頭取不在ノ時ハ代理スルコトヲ得

第廿八條 検査役ハ頭取ノ指揮ヲ受ケ輸出米ノ検査ヲ掌リ又視察掛ノ事務ヲ兼スルモノトス

第廿九條 視察掛ハ一委員長部内ニ二名ヲ配置シ頭取又ハ委員長ノ指揮ヲ受ケ受持部内ヲ巡回スルモノトス

第三十條 取締所各検査所及役員ノ印章ヲ定ムルコト左ノ如シ

方	三重縣精	方	三重縣精	方	三重縣精	同	三重縣精	方	三重縣精
寸	撰米組合	寸	撰米組合	寸	撰米組合	同	撰米組合	寸	撰米組合
分	取締所印	分	頭取之印	分	理事之印	上	何々委員長之印	分	何所検査所之印

第三十一條 本處役員ノ任期ハ滿二ケ年トシ滿期改撰スルコトヲ得

但任期中ト雖モ不正ノ所行アルハ改撰スルコトアルヘシ

第三十二條 取締處役員及委員長決定ノ上ハ速ニ縣廳ヘ届出各組合ヘ報告スルモノトス

第三十三條 本處役員ハ事務ノ爲出張巡回スルコトヲ得

第十四條 役員ノ給料及旅費額ヲ定ムルコト左表ノ如シ

役職	車手當	月手當	日給	旅費		日當
				管内	管外	
委員長	六拾圓			管内	管内	壹拾圓
委員	拾圓			管内	管外	八拾錢
検査役	拾圓以内			管内	管外	八拾錢
視察掛				管内	管外	八拾錢
組合總代				管内	管外	八拾錢

役員年月手當旅費日當支給方法

- 一 旅費ハ總テ片道二里以上ヨリ其里程ニ應メ之ヲ給ス(端里數半里以上ハ一里分ヲ給シ半里未満ハ切捨トス)滞在スレハ若翌日ヨリ其泊數ニ應メ滞在日當ヲ給ス
- 一 片道二里未満ニテ日歸リノモノハ旅費トシテ組合部外ハ金五拾錢組合部内ハ金貳拾五錢ノ日歸リ日當ヲ給シ滞在スレハ其泊數ニ應メ滞在日當ヲ給ス
- 一 片道二里以上ノ地ニ巡回スルモノハ里程ニ拘ラス其日數ニ應メ滞在日當ヲ給ス
- 一 委員年手當ハ通常金拾圓ヲ支給スト雖モ其受持部内ノ印證料證書料一ケ年収入額ヨリ一

割五分ヲ扣除シ拾圓ニ滿サルモノハ其扣除タル殘額ヲ支給ス
 一就任退任者年手當ノ支給ハ月額ニ改算シ就任者十五日以前ノ者ハ其全月分ヲ給シ十六日以後ノ者ハ半額ヲ給ス退任者十五日以前ノ者ハ其半額十六日以後ノ者ハ全額ヲ給ス
 一就任及退任ノ日ヲ定ムルニ就任ハ請書ヲ出シタル日トシ退任ハ改撰若クハ辭表ノ日トス
 第三十五條 組合一切ノ費用及賦課法ハ組合總會議ニ於テ定メ縣廳ノ認可ヲ受クヘ
 第三十六條 取締所ニ關スル費用ノ目ハ左ノ如ク
 一役員手當及出張巡回旅費日當
 一雇給 一家屋借人費 一通信費 一會議費 一備品及筆紙墨其他雜費
 第三十七條 會計年度ハ四月ニ起リ翌三月ニ終ルモノトス
 第三十八條 金錢ノ出納ハ後証ノ爲メ預收証ヲ取置クモノトス
 第三十九條 第五條ニ依リ賦課シタル經費ニ剩餘ヲ生スルキハ翌年度ノ經費ニ組込又違約者ヨリ取立タル料金ハ其年度ノ費用ニ充ツルモノトス
 第四十條 經費金在高拾圓以上ニ至ルキハ確實ナル銀行ニ預ケ置クモノトス
 第四十一條 定式會ハ毎年三月ニ於テ之ヲ開クモノトス
 但頭取ノ意見ヨリ會期ヲ變換スルコトアルヘシ
 第四十二條 定式會ニ於テ議スヘキ要領左ノ如ク
 一規約ニ關スル事 一經費収支ニ關スル事 一頭取及理事撰定ノ事
 一右ノ外本所ニ於テ必要トナス事項
 第四十三條 臨時會ハ左ノ場合ニ限リ之ヲ開ク
 一頭取ノ意見ヲ以テ開會ヲ必要トナス時

一各組合委員長六分以上ノ同意ヲ得タレ得
 第四十四條 會議ノ原案ハ頭取之ヲ發シ會員ハ各組合委員長ヲ以テ之ニ充ツ
 但時宜ニヨリ特別會員ヲ加入セシムルコトヲ得
 第四十五條 會議ノ會長ハ會員ノ互撰トス
 第四十六條 會議ハ會員ノ出席過半數ニ滿ラサレハ之ヲ開クヲ得ス
 第四十七條 會議細則ハ別ニ之ヲ定ム
 第四十八條 取締所ハ毎年一度検査役ノ會議ヲ開クモノトス
 第四十九條 検査ヲ受ケス檢出スル者ハ一俵ニ付金三拾錢以上金壹圓以下ノ違約金ヲ出サシム
 第五十條 第七條ノ検査証ヲ變更シ又ハ之ヲ偽造シテ使用シタルモノハ一俵ニ付金五拾錢以上壹圓五拾錢以下ノ違約金ヲ差出サシム

第五十一條 違約處分ハ取締所規約ニ違背シタルモノト組合規約ニ違背シタルモノトヲ問ハス
 検査上ニ於テ發覺シタル者ハ取締所之ヲ處分ス
 第五十二條 前條ノ外ニ於テ發覺シタル違約者ハ其取締所規約ニ違背シタルモノト組合規約ニ違背シタルモノトヲ問ハス其發覺シタル地ノ委員長之ヲ處分ス
 第五十三條 違約處分上ニ對シ違約者ハ其始末書ヲ出スヲ拒ムヘカラス
 第五十四條 前年度組合ニ關スル事蹟ハ翌年五月中取調縣廳ヘ差出スモノトス
 右條々遵守ノ証トシテ一同記名調印スル者也

○告示

●三重縣告示第七十一號
 安濃津地審裁判所長沼東夫本月二日名古屋控訴院へ出張候付テハ不在中判事石原虎雄廳傍代

○廳中彙報

●辭令

五月三十一日

三重縣收稅屬 忍 延太郎

岐阜縣ヨリ採用ノ義申來候ニ付該縣へ出向ヲ命

ス
六月一日

三重縣收稅屬 蘆川 湊

收稅部第一課勤務ヲ命ス

同 小野寺新次郎

收稅部第一課勤務ヲ免シ專誤謬地訂正整理委員

ヲ命ス

●官吏着發 知事石井邦猷ハ屬滿岡勇之助屬椿

茶一郎屬鈴木敏勝ヲ率シ河田郡若松學校開業式

ハ臨場ノ爲メ去一日出張ノ處即チ歸郷○屬鈴木

敏勝ハ三重朝明鈴鹿ノニ郡ヲ學事巡視ノ爲メ去

一日出張○安濃川北各郡へ出張ノ屬川莊太郎

ハ去卅日歸郷○屬小池正一ハ道路修繕ヲ所實視

ノ爲メ鈴鹿阿拜ノ各郡へ去卅一日出張○收稅屬

黒井政之丞ハ第二區へ出張ノ處五月廿八日歸郷

○縣ニ第四區へ出張セシ收稅屬沼田直智同岩田

敬一ハ五月廿九日歸郷○收稅屬數田直一ハ誤

謬地檢査トシ飯高、多氣兩郡へ同堤昇太郎ハ

同伴ニ付買辦部へ各五月廿九日出張○誤謬地

訂正整理委員長石黒豐則ハ誤謬地檢査監査ト

シテ五月三十日奄藝、買辦兩郡へ向ケ出張○

義ニ第四區へ出張セシ收稅屬大澤保之同小島

晋ハ五月三十一日歸郷○收稅屬中村幸吉同第

九重門ハ第四區へ同沼田直智同小島晋ハ第七

區へ向ケ六月一日ニ同高橋廉一同岩田敬一ハ

第二區へ同黒井政之丞同花房猛ハ第一區へ向

ケ六月二日ニ執レモ賣藥檢査トシ出張セリ

○正誤

○公文第一八號正誤

壹頁 第一行目 船簿ハ(船籍)二頁 船壹行目

(製込人)ノ下(入)字ヲ脱ス同第七行目(了

シ)ハ(了)三頁 第九行目 船頭ハ(船燈

十六頁(小形橋)ノ下(燈)字ヲ脱ス十七頁

(飛揚シ)ハ(飛揚シ)